

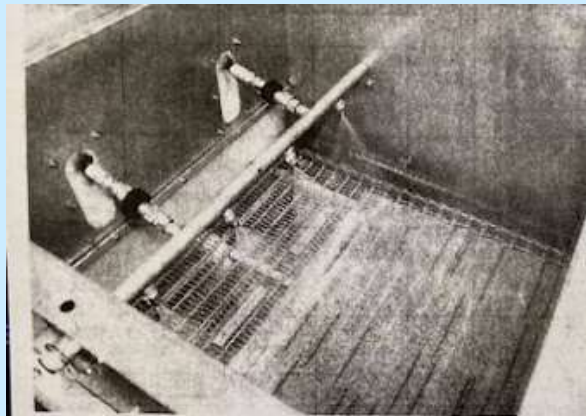


11月16日の読売新聞全国版に大々的に掲載をしていただきました。国内で年間10万トンのタイルカーペットが廃棄される現在、捨てずに特殊な洗浄方法で丸洗いし再利用できるようになりました！

弊社のタイルカーペトリユース事業は【3つの柱】からなります

- ①タイルカーペットを究極に丸洗いし再利用します。
- ②不要なタイルカーペットで再生可能なものを1枚1円で買い取ります。
- ③買い取ったタイルカーペットを徹底クリーニングし安価で販売します。

ご興味のある方は是非お問合せください。



新規開発したタイルカーペット丸洗い機

タイルカーペット再利用

ワイス・クルー
(長野県上田市)

1990年創業。長野県内のビルなどを中心に清掃や維持管理を手がける傍ら、昨年からはタイルカーペット洗浄事業などを開始。上田市に本社とオフィス、工場を構えていて、東京都江東区にも営業拠点を持つ。資本金1000万円。従業員はパートを含め約40人。



オフィスやホテルなどの床に敷き詰められているタイルカーペット。使い捨てが主流だが、上田市のビルメンテナンス会社「ワイス・クルー」は、コロナ禍をきっかけに、タイルカーペットの丸洗い機を開発した。昨年稼働を始め、環境問題に関心を寄せる企業や行政機関から注文が相次いでいる。ビル清掃の需要が回復した今も「再利用を業界のスタンダードに」と事業

ビルメンテナンス会社 洗浄機開発

拡大を目指す。
■3分で「新品同様」
従業員が50センチ四方のタイルカーペットを一枚ずつ機械のレール上に乗せていく。カーペットはレールの上を流れて高水圧洗浄機で丸洗いされた後、乾燥機へ3分ほどで全量運ばれ、汚れが除去され、ナイロン製の毛はきれいに立ち、新品同様によみがえる。
上田市に昨年10月新設された工場で、1日に洗浄できるのは最大1200枚。工場の倉庫には、買い取った中古のタイルカーペットが山積みになり、洗浄を待っている。社長の仁科剛(58)は、「環境にも経済にも負

載できる新たな分野を開拓することができた」と話す。
■年間10万トンの廃棄
開発のきっかけとなったのは、新型コロナウイルスの感染拡大だった。各企業はテレワークを促進。人が集まる公共施設などの使用停止も相次ぎ、清掃員を定期的に派遣しているビルメンテナンス業界も打撃を受けた。同社も取引先から定期清掃を断られるようになり、収入は半減した。それが数か月間続き、経営の見通しが立たなくなっ

た。「何か新たな事業に乗り出さなくてはならない」と考えていた仁科。思い出したのが、日常的にビル清掃で扱っていたタイルカーペットの丸洗いだ。通常は表面を掃除機などで清掃し、毛がつぶれたり汚れたりすれば、新品に取り換えるのが常識で、国内では年間約10万トンが廃棄されている。
もともと環境問題に関心のあった仁科は、以前から丸洗いのアイデアを持っていた。10年ほど前に洗浄機を試作したが、1日に洗える枚数が300枚と少なく、「ビジネスにはほど遠い」と断念していた。
今回は、新型コロナによる経営環境の変化を受け「やるしかない」と2021年10月頃、東京都内のメーカーと協力して新たな洗浄機開発に着手した。



丸洗い前(左)と丸洗い後のタイルカーペットを手に開発の経緯を語る仁科社長(10月12日、上田市で)

■中古品販売を開始
開発にあたり課題だった資金は、国がコロナ禍を受けて始めた「事業再構築補助金」を活用した。1回の最大洗浄枚数を増やすことに注力し、1度の作業で洗浄から乾燥まで完結するよう、ほぼ全自動式のレールを取り入れ、試作品の4倍、1日1200枚を洗えるようになった。
新工場の稼働後は、使用済みタイルカーペットを買い取り、洗浄して新品の約5分の1の値段で販売している。張り替え工事の費を合わせても新品の6割ほどの値段で張り替えできる。県内の企業だけでなく、都内の大手ビル管理会社からも問い合わせがあるという。

(敬称略)
(山崎至河)
近年は、原材料費などが高騰し、SDGs(持続可能な開発目標)を経営に取り入れる企業も増えている。仁科は「需要は増え続けるだろう。これが新たな生きる道だと確信している」。

ビル管理 市場規模回復

矢野経済研究所(東京)によると、ビルの清掃や設備管理などを担うビル管理の市場規模は近年、拡大傾向だったものの、コロナ禍の影響で2020年度は一時足踏みし、前年度比1%減の4兆2333億7千万円となった。しかし、21年度以降は回復し、23年度は前年度比1.3%増の4兆6494億円を見込む。コロナ禍を経て、オフィスの

在り方を見直しによる工事改修、停滞していた新規案件の増加が、市場の成長につながっていると、矢野経済研究所はみている。
また、コロナ禍で衛生管理の意識が高まったことにより、内装工事やリニューアル工事需要の顕在化も、市場拡大に寄与していくとされる。

信州渋温泉歴史の宿 金具屋様 バリ्यू工法施工事例



従業員様宿舎屋根防水工事施工



長野県下高井郡山ノ内町の
信州渋温泉「金具屋」様
社員様宿舎屋上の雨漏り補修等
のご発注を頂き、約1週間かけ施工
させていただきました。施工完了後ご
確認頂き美観の高さと耐用年数の
長期化にとっても喜んで頂きました。
漏水やサビにお困りの方は是非お
声がけください。お待ちしております！

信州渋温泉金具屋様 (HPより)
長野県の渋温泉にある温泉宿で、
大正時代の民主化運動と古来の伝統
技術が相まって日本文化が花開いた
昭和初期。金具屋様は当時の建築と
温泉文化をそのままに残しておりと
ても素敵なたたずまいです。*昭和
11年に完成した木造4階建ての「金
具屋齊月楼」と「金具屋大広間」が
平成15年に国の登録有形文化財に
認定されました。



その他
・腐食した鉄骨階段
・貯湯タンク水漏れ 等も
施工可能です！！



Yz Crew
株式会社 ワイズ・クルー
新長野オフィス
〒386-0005
長野県上田市古里1576-5
東京オフィス
〒135-0063
東京都江東区有明3-7-26 有明フロンティアビルB棟9階
URL <http://www.yz-crew.co.jp/>
担当者：仁科 TEL0268-23-8733

